



「笑顔とつながり」

永田台

ユネスコスクール11周年

No.548 夏休み号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和3年7月21日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに



安心・安全な夏休みを

校 長 武山 朋子

7月5日のスクールゾーン対策協議会には、子どもたちの安全な登下校のためにPTA、地域の方と共に警察、土木事務所、区役所の方が集まり、現状の確認や改善策について協議を行いました。その中で、通称「四つ信」の交差点を、斜めに横断できるよう改修できないかを協議していただいたのですが、残念ながら実現は不可能であることが分かりました。警察の方も丁寧にご説明くださり、確かに仕方がないのだと納得した次第です。

となると、改めて正しい信号の渡り方を徹底する必要があります。そうでないと、いつも子どもの見守りのために立ってくださる地域の方、保護者の方が、違反をしていることになり、事故があった場合には責任を追及されかねないからです。学校では朝会や学級での指導を行ったところですが、すぐに夏休みに入ってしまうため、ぜひ、ご家庭でもご確認をお願いします。

また、安全ということでは、夏の水の事故が心配されます。川遊びでは、浅いところでも足元をすくわれる危険性は大きいにあります。山の方で突然の豪雨があった後、前触れもなく水かさが増して中州に立ち往生した事故も少なくありません。昨年度、今年度と学校での水泳学習はできていないため、教室での安全指導は行いました。それでも、実際の水の中での体の感じ方を十分に伝えられるわけではありませんので、こちらもご家庭でのご注意をお願いします。

オリンピックの開催が目前に迫り、本当ならば国を上げて大いに盛り上がっているはずの時期ですが、なかなかそうもいかない現実があります。神奈川県では新規感染者数が急増していることから、「神奈川版緊急事態宣言」が発出され、緊急事態宣言と同等の措置を講じることとなりました。価値観や置かれている状況は人それぞれで、ワクチン接種にしてもオリンピックの受け止めにしても、「これが唯一の正解」がないのが今の時代です。だからこそ、「自分はどうか考えるか。」そして「自分はどうか行動するか。」を自己選択・自己決定することが必要になります。それには自己責任が伴うため、とても重いことだともいえます。むしろ、「誰かが言ったからその通りにした。」という方が、うまくいかなかったときに「人のせい」にできると考える人は多いことでしょう。その中で、自分の選択の結果を引き受けるのは勇気がいるかもしれません。この夏、どんな行動が安心・安全な行動だと言えるのか、それはぜひ、各ご家庭でよく相談し、一緒に考えていただけたらと思います。事故や事件にあうことなく、また、健康に過ごせる夏でありますように、心から願っております。

